

ITを活用できる介護士～IT初心者向け講座～

受講費
無料

IT を活用できる介護士とは、
スマホや PC を使えたり、介護 IT ツールを活用しながら
介護現場の質の向上・効率化が図ることができる
これからの介護士です。

介護現場では、介護 IT ツールを活用できる人材を増やし、サービスと働く環境の向上が課題となっています。この講座を受講し、IT を活用できる介護士として働く楽しさを知ることで、あなたもこうした課題の解決に大きな役割を果たす人材を目指しませんか？

介護現場で必要とされている人材とツール

①現状のアナログだけの介護のあり方に疑問を持っている介護士

時代にあった最新の介護方法を取り入れたい、今後も更に進む少子高齢化に呼応して、力を発揮したいという意欲のある人材が必要です。

② IT を活用できる介護士の展望

介護施設の安定経営には、質の高いケアと人材不足の解消が不可欠です。

③介護 IT ツールの導入

効果的に IT を活用すれば介護職員の負担をやわらげ、利用者に対して満足度の高いケアを提供することもできます。今現在、働いている介護職員がこれからも働き続けられる環境を作ることも非常に大切です。利用者の安心感にもつながります。

とても簡単な IT を学び、
IT を活用できるこれからの介護士を
目指してみませんか？

講座の紹介

IT を活用できる介護士は、介護において欠かすことのできない人材になると期待されています。この講座では、とても簡単な IT スキルを身につけることで、個人のスキルアップや、介護施設・事業所全体の業務の見直しを実現させることを目指します。

1 身に付くスキル

介護施設における IT 技術の理解や介護の基礎知識を学べます。さらに、介護関連ソフトウェアに関する基礎的な知識が身に付きます。

2 オンラインも選べる受講方法

場所を選ばず自宅を受講でき、全国各地から参加可能です。効率的に学習したい方に便利な講座です。学習時間は 120 時間となり、山形、石川、岡山、福岡等の専門学校での履修も選択できます。

3 教材

介護事業者や他の教育機関と連携して制作した動画やアプリ等のオリジナル教材を活用しますので、どなたでもご活用いただけます。

4 業界での活躍

IT を活用できる介護士とは、介護 ICT ツールを活用しながら介護現場の質の向上・効率化が図れる介護士です。慢性的に続く介護業界の人材不足は、さらに進む少子高齢化によりますます深刻化していきます。近年では、介護 ICT ツールの開発や導入が進められていますが、実際には十分な活用ができていないことも多いのは、介護 IT ツールの操作、運用ができる人材が少ないことが 1 つの要因です。受講後は、そんな業界を変える力を持った人材として活躍が期待できます。

お問い合わせは

Mail : contact@recurrent-edu.org

TEL: 090-8919-3891

学校法人せとうち 日本 IT ビジネスカレッジ

開講期間

2022年11月 7日～12月27日
2023年 1月10日～ 1月13日

1 時限 **12:55-13:55** 2 時限 **14:00-15:00** 3 時限 **15:05-16:05**

※上記期間中の平日 40 日間 × 3 時限の 120 時間が総受講時間となります。(土曜、日曜は休講です。)

※受講できない授業があった場合でもアーカイブ配信によって補講することが可能です。

※2022 年 11 月 30 日、12 月 1 日は職場体験の予定です。

**開講直前！
お申し込みはお早めに
どうぞ！**

講座内容

IT 基礎 / 応用

PC 基礎 I (ハード、ソフト (OS))

PC 基礎 II (ソフト (アプリ)、ネットワーク) スマホ操作

PC 応用 (タイピング、基本操作、周辺機器)

Microsoft WORD/EXCEL 基礎

Microsoft WORD/EXCEL 応用 (介護実務活用)

介護現場の IT 化 実例 I

介護現場の IT 化 実例 II

介護現場の IT

介護現場の IT 化、DX 化における現状と課題 スマホ操作

介護現場の IT 化、DX 化において求められるスキル スマホ操作

介護現場での IT 活用実習 申し送り書

介護業界の IT システム総論 ほのぼのシリーズ

介護 IT システムの活用 I zoom 等の利用、勉強方法、設定

介護 IT システムの活用 II ライフについて

介護の基本

介護の基本 I (介護概論)

介護の基本 II (対象の生活理解)

介護の基本 III (リスクマネジメント)

介護の基本 IV (他職種の役割と連携)

介護の基本 V (リハビリテーション)

介護の基本 VI (介護従事者の安全)

介護の職場体験

コミュニケーション技術

コミュニケーション技術 I (基本・チーム)

コミュニケーション技術 II (利用者・家族)

生活支援技術

生活支援技術 I (基本・環境・移動・みじたく・食事・排泄)

生活支援技術 II (清潔・睡眠・みとり・緊急時・災害時)

生活支援技術 III (緊急時・災害時・家事援助・住居環境)

IT 基礎 (スマホまたは PC を活用した申し送り書)

IT 基礎 (基礎的なパソコン操作 スマホ操作 マイク音声入力)

介護過程

介護過程 I (介護過程の理解・チームアプローチ)

介護過程 II (老化に応じた介護過程)

介護過程 III (障害に応じた介護過程)

推薦コメント

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科
ヘルスシステムマネジメント学

教授・医学博士・経営学博士 **渡邊 豊彦** 先生



新型コロナウイルスによる感染拡大は、大きな社会変化を引き起こしました。介護業界における人材不足は以前からの課題でありましたが、人々の医療や介護に対するニーズやマインドも劇的に変化させたといえます。介護におけるデジタルトランスフォーメーション (DX) を実現するために様々な技術が開発され、すでに活用されはじめています。今後、市場規模の成長が期待されている分野であり、医療・介護の現場で DX を推進し、変化に適応できる IT スキルをもった人材は強く求められています。大きな社会変化を「危機」ではなく、「新たなチャンス」と捉える人にとって、本プログラムはとてもチャレンジングで魅力的なものになっています。

IT を活用できる介護士は、どんな人がなれるの？



どんな方が対象ですか？

IT を活用できる介護士は、介護現場の経験が少ない方から経験が長い介護リーダーや主任、現場統括、経営者まで幅広く期待される存在です。

介護職として経験の浅い人でも、簡単な IT スキルを身につけることで、活用しきれていない介護 IT ツールを、いざ有効活用しようとなった場合、すぐに役立てることが出来ます。また、キャリアアップ時、自己アピールにもなります。

また、介護施設にとっては、人員不足や質の高いケアの提供への課題を解決する手段として、介護 IT ツールを有効に活用することで、介護現場の全体的な見直しができます。

こうした意欲がある方なら、どなたでも受講することができます。

「IT を活用できる介護士～IT 初心者向け講座～」は、(文部科学省「DX 等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」)として委託を受けた学校法人せとうち 日本 IT ビジネスカレッジが実施するものです。



**詳しいご案内、受講のお申し込みは
こちらから**

<https://recurrent-edu.org/>